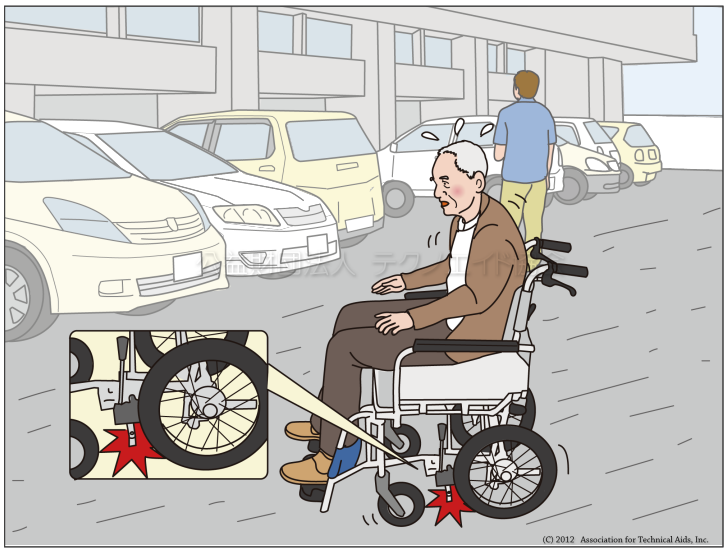
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：150

ブレーキをかけ忘れたことにより車いすが移動し、転倒しそうになる

場面の説明

傾斜のある駐車場にブレーキをかけずに放置してしまったため、車いすが動きだしてしまった



利用シーン	移動 外出
主な利用場所	坂道
介護保険の種目	車いす
分類コード(CCTA95)	122103 (介助用車いす)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

介助者が車いすのブレーキをかけ忘れたまま、車を取りに行ったのでしょうか。介助者の見た目には傾斜を感じないような場所でも、車いすは動き出してしまうことがあります。駅のホームではエレベータ待ちをしていた車いすが動きだし、利用者ごと線路に転落するという事故も起こっています。介助者は平坦な場所でもこまめにブレーキをかけるよう、日ごろから習慣づけておくことが事故を未然に防ぐことにつながります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：ブレーキをかけ忘れていた
人：傾斜があることに気づかなかった
人：離れた位置で車いすを停めたので目視できなかった
管理：ブレーキが故障していた

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.